

## I 調査の概要

## 1 調査の趣旨

- (1) 学習指導要領に示されている目標及び内容に基づき、「読み・書き・計算」などの基礎的な知識・技能の定着状況とともに、思考力、表現力などの状況を把握する。
- (2) 児童生徒の生活や学習に関する意識や実態及び各学校における教科指導等の実態を把握する。
- (3) 各学校が全県的な結果と比較・分析することを通して、自校の課題を明確にするとともに、指導内容や指導方法の改善・充実を図る。
- (4) 調査結果を基に児童生徒の学習の到達度を明らかにし、教育行政施策に生かす。

## 2 調査対象

学 年	調査実施校数 (校)		集計対象者数 (人)	
	県	市	県	市
小学校第5学年	490	140	24,612	10,714
中学校第2学年	244	64	22,059	8,958

## 3 調査期日

平成25年6月11日 (火)

## 4 調査内容 (実施教科等)

小学校第5学年

- ① 国語、算数、理科における前学年までの学習内容の定着状況調査
- ② 生活と学習に関する意識・実態についての児童質問紙調査
- ③ 指導方法等についての学校質問紙調査

中学校第2学年

- ① 国語、数学、理科、英語における前学年までの学習内容の定着状況調査
- ② 生活と学習に関する意識・実態についての生徒質問紙調査
- ③ 指導方法等についての学校質問紙調査

## 5 調査問題の類型 (平成25年度からの分類)

## ○ タイプⅠの問題

教科で身に付けておかなければあとの学年等の学習内容に影響を及ぼすなど基礎的・基本的な内容 (基本的には、平成24年度までの調査で出題した内容)

## ○ タイプⅡの問題

教科で学習した知識・技能を実生活や学習の様々な場面に活用する力などに係る内容

## 6 語句の説明

語 句	説 明
正答	正しい答え
準正答	完全な誤りではなく、正答として考えられる答え
誤答	完全に誤った答え
通過率	正答または準正答であった児童生徒の割合
誤答率	誤答であった児童生徒の割合
無答率	無解答であった児童生徒の割合
通過率〇%以上	教科全体の設問数を100%として、その〇%以上の設問を通過しているということ
平均通過率	設問ごとの通過率を領域や教科全体等で平均した割合
通過設問数	児童生徒が各教科で通過した設問数

## Ⅱ 調査結果の分析及び考察

### 1 全体的傾向

#### 平均通過率の経年比較

##### 【小学校】

(単位：%)

教科	国語		算数		理科	
	県	市	県	市	県	市
平成 21 年度	75.0	74.0	79.8	78.4		
平成 22 年度	82.3	81.0	79.0	77.6		
平成 23 年度	78.5	77.3	77.8	76.2		
平成 24 年度	75.8	74.1	75.0	72.9		
平成 25 年度Ⅰ	77.2	73.2	70.1	66.7	63.9	60.2
平成 25 年度Ⅱ	38.2	33.8	68.1	66.4	56.8	53.8
平成 25 年度教科全体	70.1	66.0	69.8	66.7	61.3	57.9

##### 【中学校】

(単位：%)

教科	国語		数学		理科		英語	
	県	市	県	市	県	市	県	市
平成 21 年度	75.0	73.2	69.7	68.3			65.2	63.5
平成 22 年度	77.5	74.9	72.6	71.0			70.2	66.3
平成 23 年度	73.2	70.2	74.7	72.4			71.9	69.9
平成 24 年度	81.0	78.5	74.1	71.9			74.2	72.2
平成 25 年度Ⅰ	73.7	70.6	72.7	68.8	45.8	42.4	74.4	70.1
平成 25 年度Ⅱ	63.7	61.9	51.2	47.8	26.1	23.8	63.2	59.0
平成 25 年度教科全体	71.7	68.8	69.0	65.1	39.9	36.8	72.1	67.8

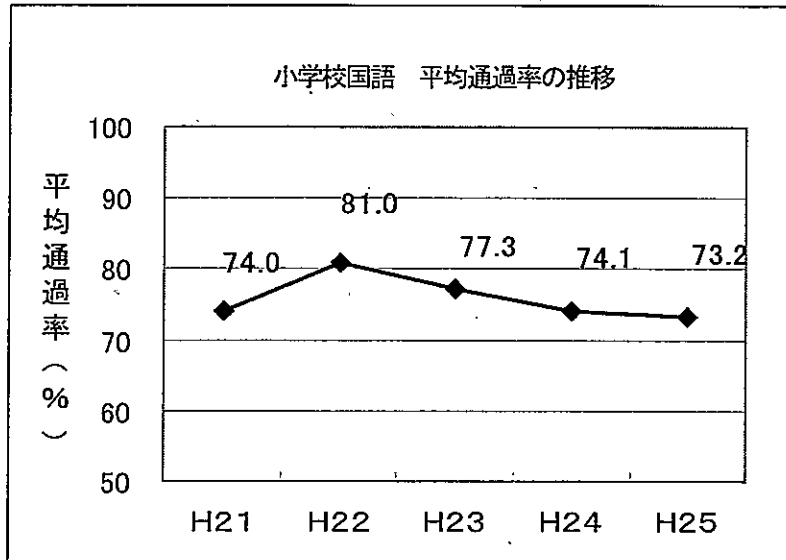
#### 通過率 80%以上、60%以上、30%未満の児童生徒の割合の経年比較

校種	教科	小学校			中学校			
		国語	算数	理科	国語	数学	理科	英語
通過率 80%以上の割合(%)	H21	49.3	62.1		44.0	38.9		30.8
	H22	67.3	58.6		48.0	43.6		36.3
	H23	57.5	55.0		34.4	47.1		43.8
	H24	49.4	47.8		57.5	46.0		48.2
	H25	43.7	26.1	16.7	41.2	37.3	3.9	42.8
通過率 60%以上の割合(%)	H21	79.3	86.8		76.5	68.7		61.0
	H22	87.9	85.0		79.9	70.3		65.6
	H23	84.2	84.7		74.3	73.6		71.1
	H24	79.5	79.3		87.0	73.1		74.4
	H25	78.4	65.8	51.3	74.4	68.3	21.3	69.8
通過率 30%未満の割合(%)	H21	3.9	2.5		2.5	6.3		7.8
	H22	2.2	2.2		2.1	7.4		6.4
	H23	2.5	2.3		3.1	6.6		5.1
	H24	3.8	3.4		1.7	7.0		4.7
	H25	3.7	4.6	10.8	3.3	8.0	36.2	6.1

## 2 各教科の調査結果の分析及び考察

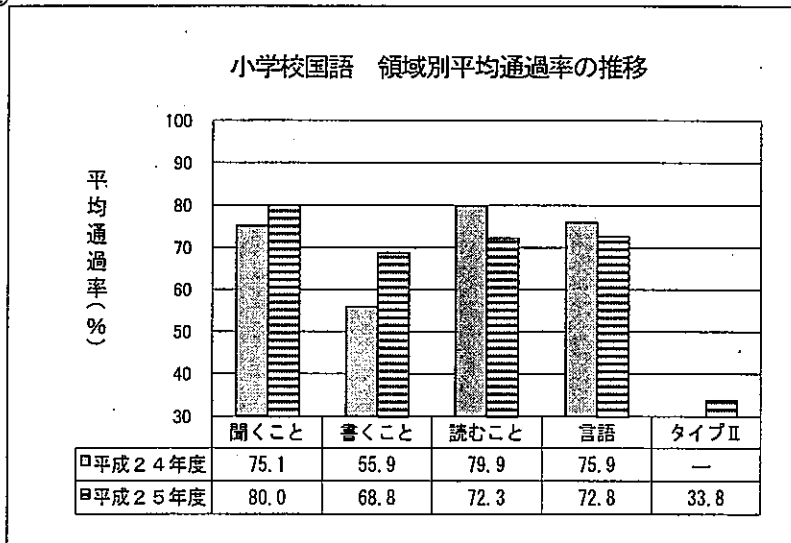
### (1) 小学校国語

①



※ H25は、タイプI

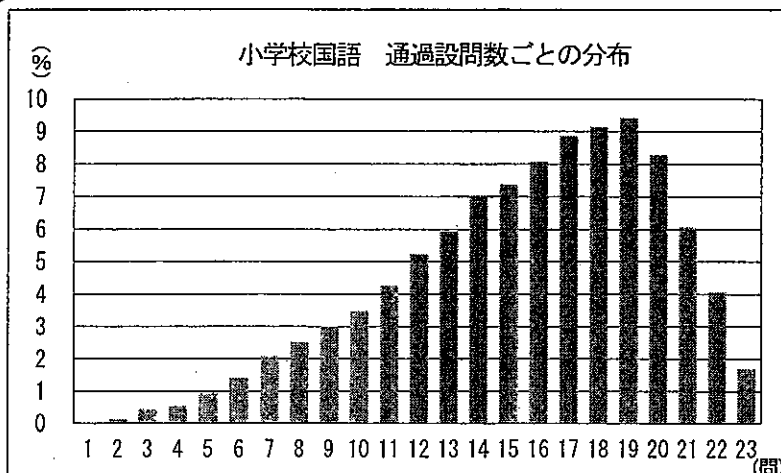
②



※ 言語：「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」

※ タイプII：読むこと・書くこと

③



① 平成25年度平均通過率

タイプI 73.2%

タイプII 33.8%

教科の平均通過率は、70%を超えている。昨年度と比べ、0.9ポイント下がっている。

② 「聞くこと」、「読むこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の平均通過率は、70%を超えている。

昨年度の平均通過率と比べ、「書くこと」は12.9ポイント、「聞くこと」は4.9ポイント上がっている。

定着状況

指導改善のポイント

聞くこと

かなり定着

- 領域の平均通過率 80.0%
- ◇ やや課題
  - ・要点の聞き取り【問題一3】  
設問別平均通過率 63.6%

- 基本的なメモの取り方を十分に指導した上で、聞くことの目的を明確にし、必要なことを意識しながらメモを取ることやメモから必要な情報を取り出すことの指導を繰り返す。

書くこと

おおむね定着

- 領域の平均通過率 68.8%
- ◆ 課題
  - ・理由を挙げた記述【問題四2】  
設問別平均通過率 57.4%
- ◇ やや課題
  - ・文章の構成【問題四3】  
設問別平均通過率 68.2%

- 記述や推敲の指導をする際に、意味が分かりにくい文や長過ぎる文に着目させ、接続語を使って複数の文に分けることの指導を繰り返す。
- 国語科のみならず、他教科・領域等と関連させて、実際に手紙やはがきを書く活動を設ける。

読むこと

おおむね定着

- 領域の平均通過率 72.3%
- ◆ 課題
  - ・叙述を基にした想像【問題三2(2)】  
設問別平均通過率 47.2%

- 文学作品を読む際、登場人物の性格や状況を把握し、場面の移り変わりとともに変化する気持ちについて地の文や行動、会話などから、関連的に捉えることの指導を充実させる。

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

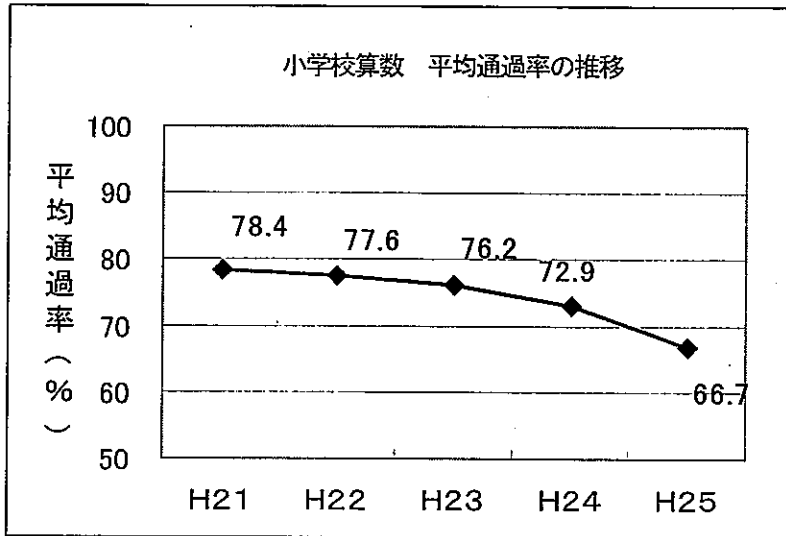
おおむね定着

- 領域の平均通過率 72.8%
- ◇ やや課題
  - ・主語・述語の関係【問題二4】  
設問別平均通過率 57.4%
  - ・慣用句【問題二3】  
設問別平均通過率 64.6%
  - ・ローマ字の書き【問題二5②】  
設問別平均通過率 62.7%
  - ・ローマ字の読み【問題二5①】  
設問別平均通過率 66.1%

- 三領域の指導において、「主語・述語」の用語を使って、その関係を繰り返し取り上げる。
- 慣用句を掲示したり、短文作りをさせたりするなど、興味を持たせる工夫をする。
- 国語科のみならず、日常的にローマ字を書いたり読んだりする指導を充実させる。
- 帯時間等を活用し、繰り返し学習することで定着を図ることができるようにする。

(2) 小学校算数

①



※ H25は、タイプI

① 平成25年度平均通過率

タイプI 66.7%

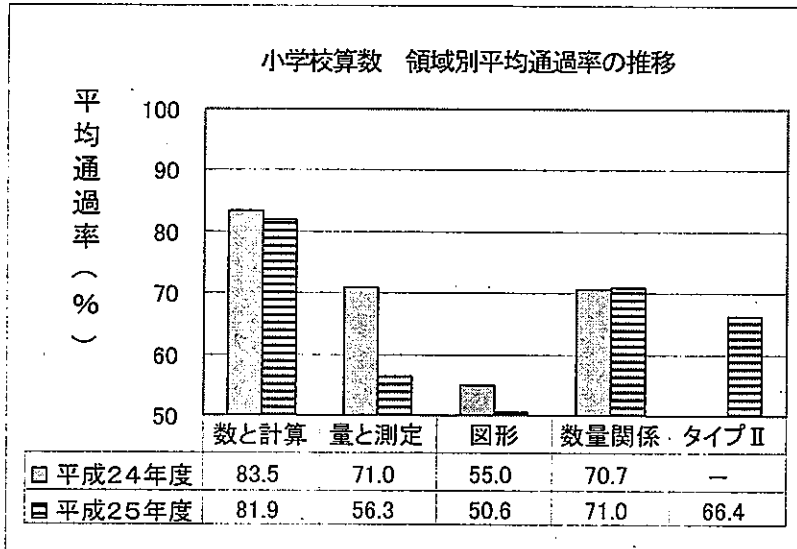
タイプII 66.4%

教科の平均通過率は、70%を下回り、昨年度と比べ、6.2ポイント下がっている。

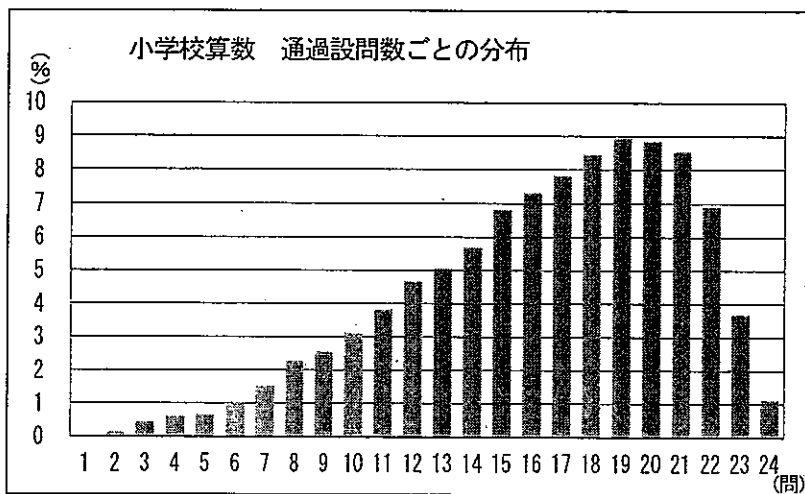
② 「数と計算」の平均通過率は、80%を超えている。

昨年度の平均通過率と比べ、「数量関係」は、0.3ポイント上がっている。

②



③



定着状況

指導改善のポイント

数と計算

かなり定着

□ 領域の平均通過率 81.9%

◆ 課題

- ・分数の意味と表し方【問題 2】  
設問別平均通過率 52.2%

- 1より大きい分数について、図に表したり、数直線に表したりすることの指導を充実させる。また、様々な図と数直線同士を関連付ける指導も充実させる。

量と測定

定着が不十分

□ 領域の平均通過率 56.3%

◆ 課題

- ・およその面積【問題 3 (1)】  
設問別平均通過率 46.4%
- ・複合図形の面積【問題 5】  
設問別平均通過率 46.5%

◇ やや課題

- ・角の測定【問題 4】  
設問別平均通過率 60.0

- 1mなど、基準になる広さを実感させる指導を充実させる。
- 複合図形の面積について、必要な線や辺の長さを書かせたり、式にある数値が図形のどの部分の長さを表しているのかを確認したりするような指導を充実させる。
- 角の大きさについての理解と実際に測定することの指導を充実させる。

図形

定着が不十分

□ 領域の平均通過率 50.6%

◆ 課題

- ・正方形の定義【問題 7】  
設問別平均通過率 9.4%
- ・直方体の面に垂直な辺【問題 6】  
設問別平均通過率 54.9%
- ・半径や直径の利用【問題 9】  
設問別平均通過率 57.9%

- 図形の性質について調べたり、図形の約束や性質に基づいて作図したり、弁別したりすることの指導を充実させる。
- 立方体や直方体について、観察したり、構成したり、分解したりすることの指導を充実させる。
- 図形の構成要素を基に、具体的な数値を図形の中へ書き込ませたり、対象を明確にして説明したりすることの指導を充実させる。

数量関係

おおむね定着

□ 領域の平均通過率 66.8%

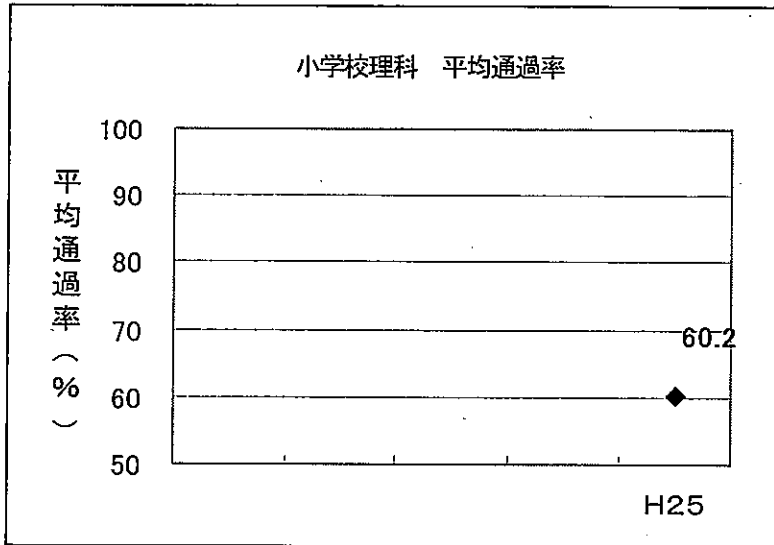
◆ 課題

- ・伴って変わる数量【問題 11 (2)】  
設問別平均通過率 45.9%
- ・一つの式で表す【問題 10】  
設問別平均通過率 69.5%

- 身の回りから、伴って変わる二つの数量を見だし、それを表などを用いて表したり、二つの数量の間にある関係を調べ、□や△などを用いた式に表したりすることの指導を充実させる。
- 文章と式を関連付けることの指導を充実させる。

(3) 小学校理科

①

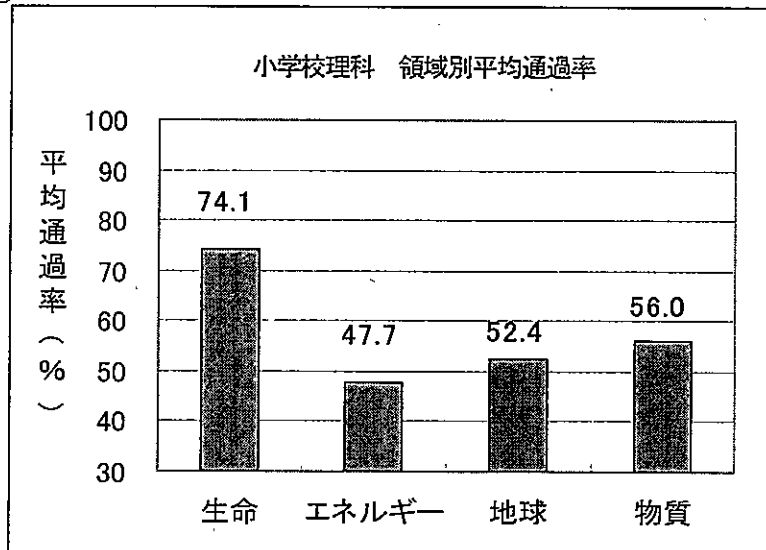


- ① 平成25年度平均通過率  
 タイプI 60.2%  
 タイプII 53.8%

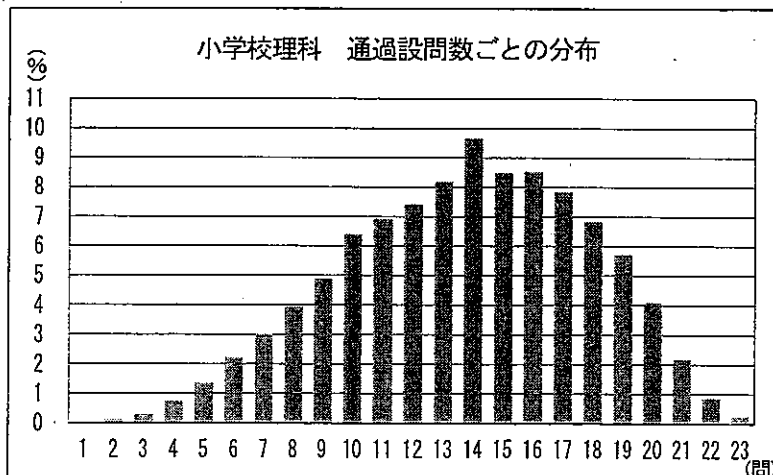
教科の平均通過率は、60%を超えているが、他教科と比較すると低い。

- ② 「生命」の平均通過率は、70%を上回っているが、その他の領域では60%を下回っている。

②



③



定着状況

指導改善のポイント

生命

おおむね定着

□ 領域の平均通過率 74.1%

◆ 課題

- ・植物の育ち方【問題 2(3)】  
設問別平均通過率 40.8%

◇ やや課題

- ・昆虫の体のつくり【問題 1(2)】  
設問別平均通過率 68.0%

- 昆虫や植物の成長過程と体のつくりを比較させる活動を仕組む活動を取り入れる。
- 昆虫の卵や幼虫を探し、それらを飼育し観察したり、植物を栽培したりする活動を通して、育ちや体のつくりについての理解を図る。

エネルギー

定着が不十分

□ 領域の平均通過率 47.7%

◆ 課題

- ・直列つなぎの回路のつなぎ片【問題 4(3)】  
設問別平均通過率 35.6%

◇ やや課題

- ・鏡の安全な扱い方【問題 3(1)】  
設問別平均通過率 56.0%
- ・日光を重ねたときの明るさ【問題 3(2)】  
設問別平均通過率 62.3%
- ・回路(並列つなぎ)の名称【問題 4(2)】  
設問別平均通過率 63.4%

- 電気の働きでは、「直列つなぎ」「並列つなぎ」という言葉を使用して考察し、適切に説明できるようにする。また、電気用図記号(回路図記号)を扱いながら結果を整理する。
- 光の性質では、平面鏡や虫眼鏡使用時の安全指導を適切に行う。その際、配慮する意図について説明させるなど、配慮事項について児童に意識づける。

地球

定着が不十分

□ 領域の平均通過率 52.4%

◆ 課題

- ・天気と気温の変化の関係【問題 5(3)】  
設問別平均通過率 40.7%

◇ やや課題

- ・気温の正しいはかり方【問題 5(1)】  
設問別平均通過率 60.0%
- ・蒸発【問題 5(4)】  
設問別平均通過率 63.0%

- 天気の変化では、1日の天気の変化と気温の変化の様子を数日間記録し、気温が上がったときと気温が下がったときの様子について考察させる。
- 蒸発という言葉が適切に使えるように、現象と結びつけて説明をさせる。
- 気温のはかり方については、使用方法についての意図を説明する。

物質

定着が不十分

□ 領域の平均通過率 56.0%

◆ 課題

- ・水を温めたときの状態変化【問題 7(2)】  
設問別平均通過率 40.5%

◇ やや課題

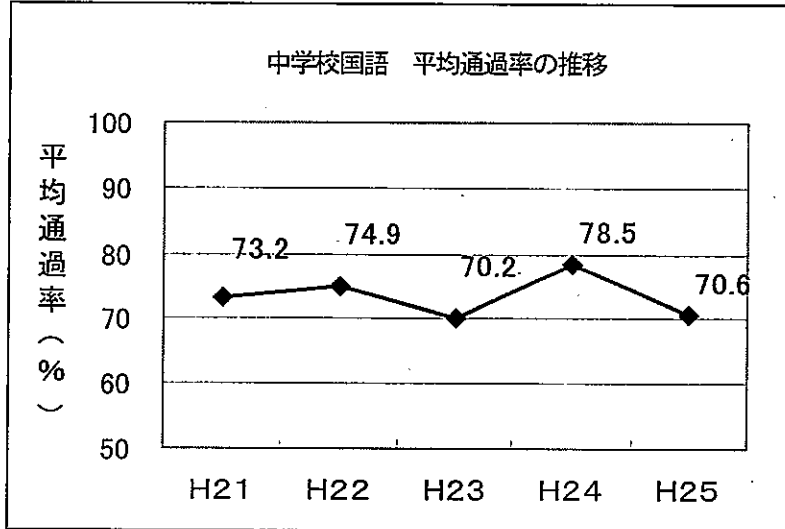
- ・グラフの単位【問題 7(1)】  
設問別平均通過率 66.5%

- 水は温度によって液体、気体、固体に状態が変化することをとらえるようにするとともに、それらが水、ゆげ、水蒸気水という言葉で表されていることと結びつのように指導する。
- 結果をグラフや表で表す活動を取り入れる。



(4) 中学校国語

①



※ H25は、タイプI

① 平成25年度平均通過率

タイプI 70.6%

タイプII 61.9%

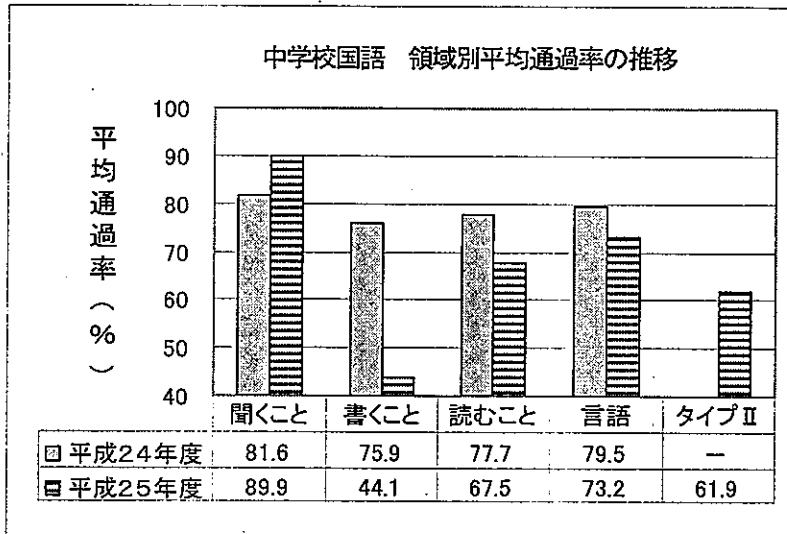
教科の平均通過率は、70%を超えている。昨年度と比べ、7.9ポイント下がっている。

② 「聞くこと」の平均通過率は、

80%を超えている。

昨年度の平均通過率と比べ、「聞くこと」は8.3ポイント上がっているが、「書くこと」は31.8ポイント、「読むこと」は10.2ポイント、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は6.3ポイント下がっている。

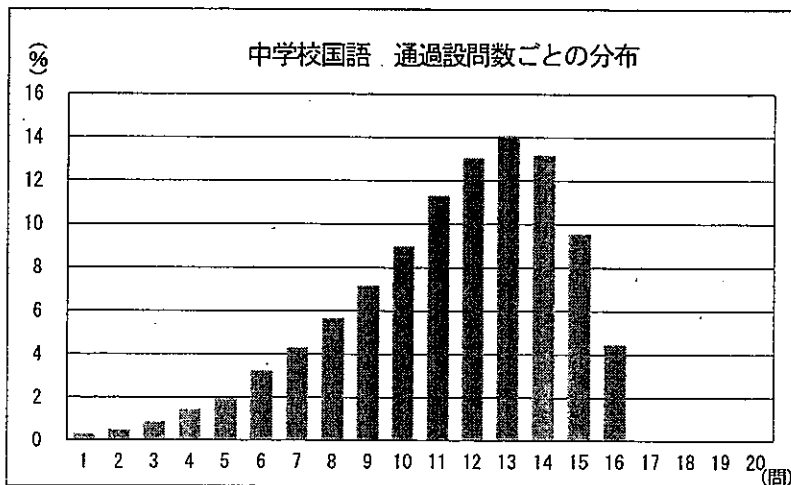
②



※ 言語：「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」

※ タイプII：読むこと・書くこと

③



定着状況

指導改善のポイント

聞くこと

かなり定着

□ 領域の平均通過率 89.9%

書くこと

定着が不十分

□ 領域の平均通過率 44.1%

◆ 課題

・ 叙述の仕方の確認【問題四2】  
設問別平均通過率 25.2%

◇ やや課題

・ 表記や語句の用法の確認  
【問題四1】  
設問別平均通過率 67.7%

- 主述の正しい文とねじれのある文とを比較するなどして、主述の関係を正しく理解する指導を充実させる。
- 重文や複文を適切な接続語を用いて二文以上の単文に書き換えさせたり、反対に、二文以上の単文を重文や複文に書き直したりする指導を充実させる。

読むこと

おおむね定着

□ 領域の平均通過率 67.5%

◆ 課題

・ 登場人物の心情の把握  
【問題三3(3)】  
設問別平均通過率 58.9%

◇ やや課題

・ 登場人物の心情の把握  
【問題三3(2)】  
設問別平均通過率 67.7%

- 場面の展開や登場人物などの描写を根拠にして読み取るとともに、自分の体験と重ね合わせるなどして登場人物の心情を実感し理解することの指導を充実させる。
- 文章全体の構成図や人物相関図を書いたり、接続語に注意して読んだりして、文章全体の構造をとらえる指導を充実させる。

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

おおむね定着

□ 領域の平均通過率 73.2%

◆ 課題

・ 事象や行為などを表す多様な語句  
【問題二4】  
設問別平均通過率 53.9%

・ 主語・述語の関係【問題三2】  
設問別平均通過率 58.6%

◇ やや課題

・ 表現の技法【問題二6】  
設問別平均通過率 60.1%

・ 故事成語【問題二3】  
設問別平均通過率 68.9%

- 語句の辞書的な意味と文脈上の意味とを比較し、語句の意味を正しくとらえるための指導を充実させる。
- 主語と述語の定義を理解するとともに、主語と述語の関係をとらえることを繰り返し取り上げ、正しく伝えるための文法の指導を充実させる。
- 文章を読む際に、表現の特徴や工夫とその効果について考えるとともに、表現を工夫して書くことの指導を充実させる。